

令和 7 年度 社会福祉法人平針福祉会 事業報告

本会は、令和 8 年 3 月 31 日を以ってグループホーム「ラルクホーム」を廃止し、新たな体制のもと令和 8 年度を迎えました。グループホームを設立した平成 13 年以降、約 25 年に及ぶ施設運営にご協力・ご支援いただきました皆様に心からの感謝を申し上げます。

さて、令和 7 年度は文字通りの記録的猛暑となり、名古屋市では最高気温 30℃を超えた日数が年間で 153 日と観測史上最高を更新し、およそ 5 か月間の危険な暑さを経験しました。各施設では、所外活動を控える、こまめに水分補給をする、日除け対策をする等、利用者の安全を守ることを第一に運営してまいりました。また、平成 12 年（2000 年）9 月にあった東海豪雨から 25 年目の節目に際し、当時の状況や教訓から防災について学ぶ報道等がありましたが、なかには市内の障害者施設の実体験として障害者が避難する際の困難さを訴えるものもありました。

本会は常に更新される歴史を教訓にして、日頃から業務継続計画やあらゆる災害への備えについての再確認や見直しを行うとともに、想像力をもった訓練を繰り返すなど、安定したサービス提供に尽力してまいりました。

以下、令和 7 年度の主な事業内容について報告いたします。

1 障害福祉サービスの充実

法人の経営理念を再確認し、サービスの充実に努めました。

- （１） 障害者への虐待防止及び身体拘束等に関する委員会を開催し、障害者虐待防止の推進と、権利擁護の見識を深める研修を実施した。
- （２） 強度行動障害など重度障害者の受入れと支援内容の充実に努めた。
- （３） 相談支援事業所と法人内事業所との連携強化に努めた。
- （４） 各施設において、感染症及び災害発生時の「業務継続計画」に基づく研修、訓練等を実施した。感染症については、利用者・職員に感染者が発生した際は法人本部に情報を集中させ、状況の把握及び適切な施設運営に努めた。
- （５） グループホーム「ラルクホーム」の廃止に向けて、ラルクホーム始め法人職員及び相談支援事業所等が連携して、利用者ご本人の希望を丁寧に聞き取り、意思を尊重しながら新たな住処を選定し、移行した。

2 コンプライアンス・ガバナンスの強化

(1) 法人体制の充実及び強化

ア 法人運営会議の開催（毎月 1 回）

理事長・常務理事及び各施設管理者で構成し、法人の諸課題について議論した。

イ ハラスメント防止委員会の開催（各施設で実施）

ウ 職員の処遇改善

処遇改善加算手当及び処遇改善加算一時金の支給により、パートタイム職員を含む全職員の賃金改善に取り組んだ。

(2) 法改正への対応

法改正等を受けて該当規程を改正するとともに、令和 8 年度に予定される労働基準法の大改正に向けて、情報収集を進めた。

3 理事会、評議員会等の開催

別紙のとおり、理事会、評議員会、監事監査、評議員選任・解任委員会を開催した。